

記載例（上下余白を各 20mm、左右余白を各 15mm 設け、フォント 9 以上で記入）

在宅結核検診システムの確立に向けて ～在宅療養者の結核検診等の実態調査～

冒頭に発表者を記入
(ルビ付)

タイトルは
原則 14 ポイント
MS 明朝 (太字)
中央揃え

ちばたろう
千葉太郎・習志野花子・船橋次郎【印旛健康福祉センター（印旛保健所）】
市川幸子（佐倉市）・木更津浩・野田一郎（佐倉地区医師会）
茂原五郎（千葉県衛生研究所）

【要旨】

発表者及び共同研究者は左揃え

医療・福祉依存度の高い寝たきり高齢者に対し実態調査を行った結果、在宅 X 線検査を提言する

【目的】

原稿は原則として日本文（外来語はカタカナで。日本語訳の無いものは原語）

【方法】

- 1)
- 2) 算用数字使用。単位・符号は慣用のものを用いる。
- 3)

【結果】

特殊な単位等には簡単な説明を加える

	人数	結果	所見	精検	備考
〇〇〇〇					
〇〇〇〇					
計					

【考察】

引用文献は記入しないこと